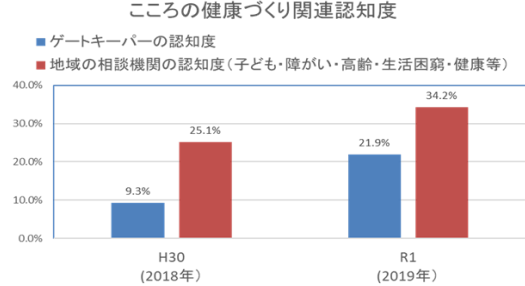


基本目標		事業名	目的・対象・内容	令和元年度主な取組み及び実績	評価（課題等）	令和２年度主な取組み																																																																
基本目標１ 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底	がん検診		【目的】 がんの早期発見・早期治療に結びつけることにより、がんによる早世を減らす。 【対象】 胃・肺・大腸：40歳以上男女 胃（内視鏡）：50～ 68歳偶数年齢 乳：40歳以上女性 子宮頸：20歳以上女性 前立腺：50～74歳男性 【内容】 胃：X線検査・内視鏡 肺：X線検査・喀痰検査 大腸：便潜血検査 乳：マンモグラフィ 子宮頸：子宮頸部の細胞診 前立腺：血液検	1. 受診率向上対策 (1) 検診体制の充実 【集団検診】 ・ 集団検診の全地区会館会場を全がん検診を同一日に実施 ・ 受診料無料対象 ・ 全がん（60歳→65歳に変更） ・ 子宮頸がん（20、25、30、35歳） 乳がん（40、45、50、55歳） 大腸がん（40、50歳） 【施設検診】 ・ 大腸がん施設検診を18医療機関で開始 ・ 乳がん施設検診の広域化 (2) 未受診者勧奨（無料対象者へ再勧奨ハガキを郵送） 2. 精検受診率向上対策 ・ 精密検査未受診者に受診勧奨はがきを郵送（12月）。電話勧奨を実施（3月） ・ 施設検診での精検未受診者には医療機関に精検勧奨を依頼	1. 平成30年度と令和元年度の受診率の比較表 <table><tr><th></th><th>平成30年度</th><th>令和元年度</th></tr><tr><td>胃がん（40～69歳） ※国の指針により、2年に1回</td><td>男性 22.2% 女性 29.1%</td><td>男性 22.4% 女性 29.7%</td></tr><tr><td>肺がん（40～69歳）</td><td>男性 17.0% 女性 20.7%</td><td>男性 14.2% 女性 19.1%</td></tr><tr><td>大腸がん（40～69歳）</td><td>男性 17.7% 女性 28.0%</td><td>男性 15.7% 女性 25.6%</td></tr><tr><td>子宮頸がん（20～69歳） ※国の指針により、2年に1回</td><td>57.6%</td><td>56.9%</td></tr><tr><td>乳がん（40～69歳） ※国の指針により、2年に1回</td><td>60.2%</td><td>60.8%</td></tr><tr><td>前立腺がん（50～74歳男性）</td><td>7.9%</td><td>6.9%</td></tr></table> ※再掲：65歳（受診料無料） 受診数・率の年度比較表 <table><tr><th>種 別</th><th>H30年度</th><th>R元年度</th></tr><tr><td>胃</td><td>94人（ 9.3% ）</td><td>140人（ 15.5% ）</td></tr><tr><td>肺</td><td>127人（ 12.5% ）</td><td>181人（ 20.0% ）</td></tr><tr><td>大腸</td><td>143人（ 14.1% ）</td><td>191人（ 21.1% ）</td></tr><tr><td>子宮</td><td>81人（ 15.0% ）</td><td>105人（ 21.5% ）</td></tr><tr><td>乳</td><td>104人（ 19.3% ）</td><td>138人（ 28.3% ）</td></tr><tr><td>前立腺</td><td>47人（ 9.9% ）</td><td>68人（ 16.3% ）</td></tr></table> 2. 種類別がん精検受診数・率の年度比較表 <table><tr><th>種 別</th><th>H30年度</th><th>R元年度</th></tr><tr><td>胃</td><td>88.3%</td><td>86.7%</td></tr><tr><td>肺</td><td>86.5%</td><td>85.2%</td></tr><tr><td>大腸</td><td>74.5%</td><td>77.5%</td></tr><tr><td>子宮</td><td>82.1%</td><td>81.7%</td></tr><tr><td>乳</td><td>95.1%</td><td>91.7%</td></tr><tr><td>前立腺</td><td>73.0%</td><td>75.0%</td></tr></table>		平成30年度	令和元年度	胃がん（40～69歳） ※国の指針により、2年に1回	男性 22.2% 女性 29.1%	男性 22.4% 女性 29.7%	肺がん（40～69歳）	男性 17.0% 女性 20.7%	男性 14.2% 女性 19.1%	大腸がん（40～69歳）	男性 17.7% 女性 28.0%	男性 15.7% 女性 25.6%	子宮頸がん（20～69歳） ※国の指針により、2年に1回	57.6%	56.9%	乳がん（40～69歳） ※国の指針により、2年に1回	60.2%	60.8%	前立腺がん（50～74歳男性）	7.9%	6.9%	種 別	H30年度	R元年度	胃	94人（ 9.3% ）	140人（ 15.5% ）	肺	127人（ 12.5% ）	181人（ 20.0% ）	大腸	143人（ 14.1% ）	191人（ 21.1% ）	子宮	81人（ 15.0% ）	105人（ 21.5% ）	乳	104人（ 19.3% ）	138人（ 28.3% ）	前立腺	47人（ 9.9% ）	68人（ 16.3% ）	種 別	H30年度	R元年度	胃	88.3%	86.7%	肺	86.5%	85.2%	大腸	74.5%	77.5%	子宮	82.1%	81.7%	乳	95.1%	91.7%	前立腺	73.0%	75.0%	・ 女性がんの受診率については、国の目標値を超えている。他のがん検診受診率は全体的に国の目標に比べて低く、受診率は伸び悩んでいる。 ・ 大腸がん検診においては、医療機関検診開始により、医師から精検勧奨することで、精検受診率が向上した。 ・ 65歳の受診料無料者の受診率は増加している。	1. 受診率向上対策 (1) 検診体制の充実 【集団検診】 ・ 無料対象者年齢の継続 ・ レディース健診の継続 【施設検診】 ・ 大腸がん委託医療機関の増加 ・ 女性がん検診広域化事業の継続実施 (2) 未受診者勧奨 ・ 無料対象者へ勧奨通知の実施（40・50・65歳） ・ 医療センターの休日 乳がん検診の日程増加（4回→5回） ・ 市内企業に市のがん検診日程を周知 チラシ250枚 2. 精検受診率向上対策 ・ 精検未受診者勧奨通知の実施 ・ 精検未受診勧奨（訪問等） ※保健師、看護師の訪問
			平成30年度	令和元年度																																																																		
胃がん（40～69歳） ※国の指針により、2年に1回	男性 22.2% 女性 29.1%	男性 22.4% 女性 29.7%																																																																				
肺がん（40～69歳）	男性 17.0% 女性 20.7%	男性 14.2% 女性 19.1%																																																																				
大腸がん（40～69歳）	男性 17.7% 女性 28.0%	男性 15.7% 女性 25.6%																																																																				
子宮頸がん（20～69歳） ※国の指針により、2年に1回	57.6%	56.9%																																																																				
乳がん（40～69歳） ※国の指針により、2年に1回	60.2%	60.8%																																																																				
前立腺がん（50～74歳男性）	7.9%	6.9%																																																																				
種 別	H30年度	R元年度																																																																				
胃	94人（ 9.3% ）	140人（ 15.5% ）																																																																				
肺	127人（ 12.5% ）	181人（ 20.0% ）																																																																				
大腸	143人（ 14.1% ）	191人（ 21.1% ）																																																																				
子宮	81人（ 15.0% ）	105人（ 21.5% ）																																																																				
乳	104人（ 19.3% ）	138人（ 28.3% ）																																																																				
前立腺	47人（ 9.9% ）	68人（ 16.3% ）																																																																				
種 別	H30年度	R元年度																																																																				
胃	88.3%	86.7%																																																																				
肺	86.5%	85.2%																																																																				
大腸	74.5%	77.5%																																																																				
子宮	82.1%	81.7%																																																																				
乳	95.1%	91.7%																																																																				
前立腺	73.0%	75.0%																																																																				
	肝炎ウイルス検診	【目的】 肝炎による健康障害の回避、症状の軽減進行を遅延を図る 【対象】 40～70歳の者で過去に市の肝炎ウイルス検診を受診したことがない者 【内容】 ・ B型、C型ウイルス抗体検査 ・ 陽性者のフォローアップ	1. 体制 ・ 検診対象者への個別通知実施…5,478通 【集団検診】 ・ 特定健診と同一日に実施 ・ 集団検診実施回数…42回 【施設検診】 ・ 34医療機関（うち市外1医療機関）に委託実施 【精密検査勧奨】3人に訪問等で専門医療機関勧奨 2. 陽性者フォローアップ ・ 過去の検診受診者における陽性フォローアップ対象者15名へ定期受診勧奨の通知発送	1. 肝炎ウイルス検診受診状況（受診人数、受診率） <table><tr><th></th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>集団</td><td>190人（2.7%）</td><td>205人（3.0%）</td></tr><tr><td>施設</td><td>150人（2.2%）</td><td>167人（2.5%）</td></tr><tr><td>計</td><td>340人（4.9%）</td><td>372人（5.5%）</td></tr></table> 【精検受診率】2人/3人（66.7%）		H30	R1	集団	190人（2.7%）	205人（3.0%）	施設	150人（2.2%）	167人（2.5%）	計	340人（4.9%）	372人（5.5%）	・ 肝炎ウイルス検診における陽性者に対し、今後も県の肝炎診療連携により、継続して定期受診のを促す支援を行っていく必要がある。	・ 継続実施																																																				
	H30	R1																																																																				
集団	190人（2.7%）	205人（3.0%）																																																																				
施設	150人（2.2%）	167人（2.5%）																																																																				
計	340人（4.9%）	372人（5.5%）																																																																				

基本目標		事業名	目的・対象・内容	令和元年度主な取組み及び実績	評価（課題等）	令和２年度主な取組み																																																																								
基本目標１ 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底	特定健診		【目的】 国保保険者として、被保険者の糖尿病や心疾患等生活習慣病の早期発見と重症化予防を図る。 【対象】 市国保保険被保険者（40歳～74歳） 【内容】 問診・身体計測・診察・血圧測定・尿検査・血液検査・心電図（基準により眼底検査等）	【受けやすい健診体制】 ・特定健診・がん検診同一日開催：31回 ・アビオシティホールでの健診実施：2回、41人受診 ・検査データ提供の県広域化事業に参加 ・40歳、65歳の健診料無料化の継続 【周知の強化】 ・わかりやすい（受診行動につながる）個人通知 ・広報折込：健康診査ご案内（約28,000枚） ・団体への働きかけ 【未受診者対策】 ・未受診者リストの抽出・作成業務（データホライゾン委託） ・医療機関における検査データ提供の強化（未受診者リストの配布継続） ・臨時職員等による受診勧奨訪問：1,432人	・特定健診受診状況と内訳 <table><tr><th>年度</th><th>H30</th><th>R1（R2.8.11時点）</th></tr><tr><td>対象者（通知発送数）</td><td>12,214</td><td>11,722</td></tr><tr><td>集団</td><td>2,114</td><td>1,819</td></tr><tr><td>施設</td><td>1,749</td><td>1,622</td></tr><tr><td>データ提供</td><td>883</td><td>792</td></tr><tr><td>人間ドック</td><td>337</td><td>366</td></tr><tr><td>受診者数(保有)</td><td>5,083</td><td>4,599</td></tr><tr><td>受診率(法定)</td><td>43.3%</td><td>43.3%（予定）</td></tr></table> ・40歳及び65歳特定健診無料化による受診率の違い 40歳：27.1%（40代：17.5%） 65歳：49.6%（60代：42.3%）	年度	H30	R1（R2.8.11時点）	対象者（通知発送数）	12,214	11,722	集団	2,114	1,819	施設	1,749	1,622	データ提供	883	792	人間ドック	337	366	受診者数(保有)	5,083	4,599	受診率(法定)	43.3%	43.3%（予定）	・無料対象である40歳、65歳の受診率は同年代と比較すると高い状況にあるが、特定健診全体では受診率が伸び悩んでいる。 ・人間ドックでの受診は伸びているが、その他の受診場所での受診が伸び悩んでいる。	・継続実施 ・未受診者への受診勧奨強化月間を設ける。 ・70～74歳介護予防基本チェックリストに健診等検査データ提供の同意欄を追加 ・国保連合会に未受診者への受診勧奨通知を委託 ・国保連合会に未受診者リスト抽出依頼																																															
	年度	H30	R1（R2.8.11時点）																																																																											
対象者（通知発送数）	12,214	11,722																																																																												
集団	2,114	1,819																																																																												
施設	1,749	1,622																																																																												
データ提供	883	792																																																																												
人間ドック	337	366																																																																												
受診者数(保有)	5,083	4,599																																																																												
受診率(法定)	43.3%	43.3%（予定）																																																																												
生活習慣病予防健診		【目的】 市民自らの健康状態を理解し、健康の保持増進（健康管理）を図る。 【対象】 若年者（19歳～39歳） その他（生活保護の者） 【内容】 特定健診に準ずる	【健診】 ・特定健診やがん検診と同時実施 ・医療機関健診の継続 【周知】 ・30代男性への個別通知送付（歯周病検診の周知と併せて） 【保健指導】 ・特定健診と同様（重症化対策参照）	・生活習慣病予防健診受診者数 <table><tr><th>若年者健診</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>対象者</td><td>13,312</td><td>13,060</td><td>12,868</td></tr><tr><td>集団</td><td>208</td><td>183</td><td>178</td></tr><tr><td>施設</td><td></td><td>63</td><td>86</td></tr><tr><td>計</td><td>208</td><td>246</td><td>264</td></tr><tr><td>受診率</td><td>1.6%</td><td>1.9%</td><td>2.1%</td></tr></table> <table><tr><th>30代男性</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>対象者</td><td>3,405</td><td>3,232</td><td>3,213</td></tr><tr><td>集団</td><td>24</td><td>19</td><td>43</td></tr><tr><td>施設</td><td></td><td>12</td><td>27</td></tr><tr><td>計</td><td>24</td><td>31</td><td>70</td></tr><tr><td>受診率</td><td>0.7%</td><td>1.0%</td><td>2.2%</td></tr></table> <table><tr><th>その他の健診</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>対象者</td><td>749</td><td>748</td><td>661</td></tr><tr><td>集団</td><td>17</td><td>6</td><td>7</td></tr><tr><td>施設</td><td>0</td><td>7</td><td>4</td></tr><tr><td>計</td><td>17</td><td>13</td><td>11</td></tr><tr><td>受診率</td><td>2.3%</td><td>1.7%</td><td>1.7%</td></tr></table>	若年者健診	H29	H30	R1	対象者	13,312	13,060	12,868	集団	208	183	178	施設		63	86	計	208	246	264	受診率	1.6%	1.9%	2.1%	30代男性	H29	H30	R1	対象者	3,405	3,232	3,213	集団	24	19	43	施設		12	27	計	24	31	70	受診率	0.7%	1.0%	2.2%	その他の健診	H29	H30	R1	対象者	749	748	661	集団	17	6	7	施設	0	7	4	計	17	13	11	受診率	2.3%	1.7%	1.7%	・若年者健診、その他の健診ともに受診率が低い状況だが、若年者健診は施設健診が開始したことで受診者数が伸びている。また、30代男性への個別通知を開始したことにより、受診者が大きく増加した。	・若年者健診 継続実施 ・その他の健診について生保担当からの健診勧奨
若年者健診	H29	H30	R1																																																																											
対象者	13,312	13,060	12,868																																																																											
集団	208	183	178																																																																											
施設		63	86																																																																											
計	208	246	264																																																																											
受診率	1.6%	1.9%	2.1%																																																																											
30代男性	H29	H30	R1																																																																											
対象者	3,405	3,232	3,213																																																																											
集団	24	19	43																																																																											
施設		12	27																																																																											
計	24	31	70																																																																											
受診率	0.7%	1.0%	2.2%																																																																											
その他の健診	H29	H30	R1																																																																											
対象者	749	748	661																																																																											
集団	17	6	7																																																																											
施設	0	7	4																																																																											
計	17	13	11																																																																											
受診率	2.3%	1.7%	1.7%																																																																											

基本目標		事業名	目的・対象・内容	令和元年度主な取組み及び実績	評価（課題等）	令和２年度主な取組み												
基本目標１ 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底	後期高齢者健診	【目的】 後期高齢者医療広域連合により、後期高齢者の生活習慣病予防を推進し、心身の健康の保持増進を図る。 【対象】 後期高齢者医療被保険者 【内容】 特定健診に準ずる →R2年度より問診票を変更	【体制】 ・市内34医療機関で健診を実施 【健診後の体制】 ・健診結果に健康づくり情報（結果説明会・KAGA健食健歩プロジェクト等）を同封して送付 【保健事業参加者数】 ・健診結果説明会参加者数：12人 ・健診結果に関する健康相談：11人 【高齢者部門との連携】 ・高齢者部門（地域包括支援センター）と連携し、健康管理と生活面から、共通の健康づくりチラシ（健康づくり情報便、介護予防基本チェックリストの生活アドバイス票等）を作成するなどし、アプローチを一本化して実施	・受診者数、率 <table><tr><td>年度</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td></tr><tr><td>後期高齢者健診</td><td>1,706</td><td>1,792</td><td>1,777</td></tr><tr><td>受診率</td><td>16.5%</td><td>16.7%</td><td>16.4%</td></tr></table> ・県の受診率は35.0%(R1年度)である。	年度	H29	H30	R1	後期高齢者健診	1,706	1,792	1,777	受診率	16.5%	16.7%	16.4%	・健診率が県より低く、20%未満で推移している。 ・R2年度から高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドラインの改定により、問診項目が変更となることから、健診等のデータ分析を行い、受診率向上対策も含め効果的な保健事業を検討する必要がある。	【受診率向上対策】 ・介護予防基本チェックリストと後期高齢者健診案内通知の同封による案内の一本化 ・介護予防基本チェックリスト配布時に健診勧奨内容追加 ・介護予防基本チェックリスト未提出者への健診勧奨内容追加 【重症化予防対策】 ・介護予防基本チェックリストでのハイリスク者かつ健診結果で重症化予防対象者（未治療・重症者）に地域包括支援センター（ブランチ）と連携した保健指導の実施
	年度	H29	H30	R1														
後期高齢者健診	1,706	1,792	1,777															
受診率	16.5%	16.7%	16.4%															
歯周病検診・歯科対策	【目的】 成人・高齢期における健康を維持し、食べる楽しみを享受できるよう歯の喪失を予防する。 【対象】 19歳以上の加賀市民 【内容】 1. 歯と口の健康週間行事 2. 歯周病検診 3. 歯周病対策と啓発	【検診率向上対策】 新・6月2日の歯とお口の週間行事、特定健診に併せた歯周病検診の実施 新・医療機関での30歳以上歯周病検診事業 集団検診・・・98人（6月2日1回のみ） 個別検診・・・延べ464人 【啓発事業】 ・講演会(健幸長寿講座) 84人参加 日時：8/25日「お口のケアと肺炎予防」 講師：小松市民病院 口腔外科医 松本氏 ・歯周病予防パンフレットを広報折込実施 27,100枚配布	・歯周病検診受診状況（受診数、受診率） <table><tr><td></td><td>H30</td><td>R1</td></tr><tr><td>集団</td><td>153人（0.3%）</td><td>99人（0.2%）</td></tr><tr><td>個別</td><td>実施無し</td><td>464人（0.9%）</td></tr><tr><td>計</td><td>153人（0.3%）</td><td>563人（1.1%）</td></tr></table>		H30	R1	集団	153人（0.3%）	99人（0.2%）	個別	実施無し	464人（0.9%）	計	153人（0.3%）	563人（1.1%）	令和元年より個別検診が開始となり、歯周病検診受診者数は増加したものの、1.1%である。歯周病検診の認知度が低いため、住民への周知が必要である。	【啓発事業】 ・6月の歯と口の健康週間に合わせた啓発の強化 ・企業へ向けたがん検診と歯周病検診を合わせた周知チラシの配布（加賀労働基準協会等）	
	H30	R1																
集団	153人（0.3%）	99人（0.2%）																
個別	実施無し	464人（0.9%）																
計	153人（0.3%）	563人（1.1%）																

基本目標		事業名	目的・対象・内容	令和元年度主な取組み及び実績	評価（課題等）	令和２年度主な取組み																																																	
基本目標１	生活習慣病の発症予防・重症化予防事業	生活習慣病の発症予防・重症化予防の徹底	【目的】 予防可能である糖尿病等を中心とした、生活習慣病の発症予防・重症化予防のため、市民自らが健康状態を理解し、自己管理能力を身につけ、健康の保持増進を図る。	【特定保健指導実施率・改善率向上対策】 ・特定保健指導利用券を結果に同封。 ・特定保健指導委託医療機関の拡大　１施設→　５施設 ・専任者による初回面接勧奨電話 ・メタボ予防・改善事業の実施と利用勧奨チラシを健診結果封筒全数に同封 運動施設利用券交付事業　３施設 タニタメニューを活用した適量学習　２施設 リブレによる自己血糖測定体験（積極的支援対象者） ・未利用者勧奨通知　５０通 【国保以外の特定保健指導】 ・協会けんぽ等と委託契約締結、実施	【特定保健指導実施状況】 <table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="3">H30年度</th><th colspan="3">令和元年度（R2.4.27時点見込）</th></tr><tr><th>対象者</th><th>終了者</th><th>終了割合</th><th>対象者</th><th>終了者</th><th>終了割合</th></tr><tr><td>動機づけ支援</td><td>302</td><td>251</td><td>83.1%</td><td>269</td><td>200</td><td>74.3%</td></tr><tr><td>（内、医療機関）</td><td>23</td><td>3</td><td>13.0%</td><td>19</td><td>19</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>積極的支援</td><td>91</td><td>45</td><td>49.5%</td><td>90</td><td>54</td><td>60.0%</td></tr><tr><td>（内、医療機関）</td><td>10</td><td>0</td><td>0.0%</td><td>8</td><td>6</td><td>75.0%</td></tr><tr><td>計</td><td>393</td><td>296</td><td>75.3%</td><td>359</td><td>254</td><td>70.8%</td></tr></table> ・運動利用施設利用数　５５人 ・タニタメニュー体験数　５３人 ・リブレ体験数　１４人 【国保以外】 ・特定保健指導実施数　４件		H30年度			令和元年度（R2.4.27時点見込）			対象者	終了者	終了割合	対象者	終了者	終了割合	動機づけ支援	302	251	83.1%	269	200	74.3%	（内、医療機関）	23	3	13.0%	19	19	100.0%	積極的支援	91	45	49.5%	90	54	60.0%	（内、医療機関）	10	0	0.0%	8	6	75.0%	計	393	296	75.3%	359	254	70.8%	・令和元年度の実施率の低下は1～3月のコロナウイルス感染症の影響がある。 ・専任者配置により、継続支援が必要な積極的支援（高リスク者）の実施率が伸びている。 ・令和元年度は実施医療機関の増加や健診を受けた医療機関で保健指導を受けることができることにより、医療機関での実施数が増えた。	・臨時在宅栄養士２名の活用の場を増やす。 ・体験メニューの周知を分かりやすくする。 ・集団教室、生活改善メニュー、健食健歩手帳の活用による特定保健指導内容のパターン化《積極的》初回面接（手帳の交付）→手紙（手帳の評価、体験メニューの利用の有無）→電話（手帳内容等確認）→評価面接（手帳評価）《動機付け》
				H30年度			令和元年度（R2.4.27時点見込）																																																
				対象者	終了者	終了割合	対象者	終了者	終了割合																																														
動機づけ支援	302	251	83.1%	269	200	74.3%																																																	
（内、医療機関）	23	3	13.0%	19	19	100.0%																																																	
積極的支援	91	45	49.5%	90	54	60.0%																																																	
（内、医療機関）	10	0	0.0%	8	6	75.0%																																																	
計	393	296	75.3%	359	254	70.8%																																																	
【内容】 ●発症予防 1. 特定保健指導を実施する。 ●重症化予防 1. 受診勧奨判定値該当者のうち未治療者及び治療中断者を医療機関へ確実につなぐ。 2. 治療中のコントロール不良者へ治療継続の必要性や良好なコントロールのための保健指導を実施する。 3. 重複服薬者については、国保部門担当者とともに訪問を行い、服薬指導を行う。	【健診後の重症化予防対策】 ・要医療判定値者には、受診結果報告書（要医療返書）を結果に同封し、受診勧奨を行う。 ・治療コントロール不良者についてはかかりつけ医の指示のもと、受診結果報告書（要医療返書）や糖尿病連携手帳等を活用し、医療と連携した保健指導を実施 ・下記a～cの対象者は、面接等で個別保健指導を実施 a. 糖尿病未治療者・治療中断者でHbA1c 6.5%以上のメタボ該当・予備群該当者 b. 治療中で高血糖（HbA1c7.0%以上）のメタボ該当及び予備群該当者。 c. 心房細動の者 ・専任による重症化予防対象者の保健指導勧奨電話を実施。 【重症化予防対象者の経年管理】 ・糖尿病管理台帳（継続支援）を活用し、専任者による健康管理状況・健康づくり情報提供訪問を実施 ・心房細動管理台帳（継続支）の管理 ・加賀市糖尿病協議会と糖尿病重症化予防対策の検討の実施 新・糖尿病療養指導士による治療中断者への受診勧奨と状況把握の実施	【未治療・治療中者の連携数】 <table><tr><th></th><th>医療連携書発行数</th><th>医療連携返信数</th><th>保健指導希望者数</th><th>保健指導実施者数</th></tr><tr><td></td><td>A</td><td>B（割合B/A）</td><td>C（割合C/B）</td><td>D（割合D/C）</td></tr><tr><td>合計</td><td>751</td><td>320（42.6%）</td><td>50（15.6%）</td><td>33（66.0%）</td></tr></table> ・未治療者の90.6%が医療機関受診につながった。 【糖尿病治療中断者対策】 ・3医療機関の糖尿病療養指導士により実施 ・対象者9人に対し、6人に保健指導実施。内4人が受診につながった。		医療連携書発行数	医療連携返信数	保健指導希望者数	保健指導実施者数		A	B（割合B/A）	C（割合C/B）	D（割合D/C）	合計	751	320（42.6%）	50（15.6%）	33（66.0%）	・未治療者・治療中者ともに約4割の者が医療機関へ医療連携書を持参し、治療や保健指導につながった。また、未受診の者に再勧奨したことで約9割が受診につながった。 他に、33名の方に医療連携書を活用した保健指導を実施できた。	・未治療者への対応 ①検査結果が判定区分に該当する者へ受診結果報告書（医療返書）を発行する。 ②受診結果報告書（要医療返書）の返信のない者へ再度受診勧奨通知を出す。 ・治療中者への対応 ①糖尿病治療中の者のうち、糖尿病腎症Ⅱ・Ⅲ期と思われる者へ受診結果報告書（要医療返書）を発行する。 ②生活習慣病等の治療中かつ主治医が保健指導を必要と認めた者に関して、主治医より保健指導依頼　書を発行する。 ③健食健歩プロジェクトの周知強化。 ・治療中断者への対応 ①医療機関の糖尿病療養指導士による糖尿病中断者への指導と状況把握。																																				
	医療連携書発行数	医療連携返信数	保健指導希望者数	保健指導実施者数																																																			
	A	B（割合B/A）	C（割合C/B）	D（割合D/C）																																																			
合計	751	320（42.6%）	50（15.6%）	33（66.0%）																																																			
			【重複服薬指導】 ・対象者には、国保部門から指導の通知あり（3件）。 ・国保部門と同行訪問し、健康管理のための保健指導（2件）を実施	・3件ともに重複服薬状況変化なし。	・重複服薬指導の効果について、他市の状況等を確認し、国保担当者と今後の取組み内容について検討が必要である。	・継続実施																																																	

基本目標		事業名	目的・対象・内容	令和元年度主な取組み及び実績	評価（課題等）	令和２年度主な取組み																							
基本目標２ 自立した生活を送るために必要な能力の維持・向上	ラジオ体操推進事業		【目的】 高齢になっても運動習慣を定着し続けるため、多くの市民が無理なく実施できる、ラジオ体操の普及を図る。 【対象】 一般市民 【内容】 1. ラジオ体操ステーション認定制度 2. ラジオ体操物品の貸出 3. ラジオ体操教室の開催 4. ラジオ体操 講師の派遣	◎NPO法人かもママに委託 ・ラジオ体操物品貸与基準の緩和：CDとラジカセの同時貸出の実施 ・ラジオ体操ステーションの認定制度：認定ステーション 20カ所 認定要件の緩和回数：週 1 回以上→月3回以上 ・ラジオ体操を中心とした運動教室を2会場で開催 リーダー養成講座 9回、運動習慣定着コース11回 ・リーダー養成コース修了生によるラジオ体操の推進 ・ラジオ体操ステーションにインセンティブを持たせることで数を増やしラジオ体操に取り組める環境を整備する。 ・リーダー養成講座 11人（実） ・運動習慣定着コース 11回519人（延べ） <table><tr><th>事業名</th><th>平成29年度</th><th>平成30年度</th><th>令和元年度</th></tr><tr><td>ラジオ体操（定例）参加者数</td><td>－</td><td>2会場20回 延587人（約30人/回）</td><td>11回 延519人（約50人/回）</td></tr><tr><td>〃（リーダー養成）参加者数</td><td>－</td><td>10回 延129人</td><td>9回 延97人</td></tr><tr><td>ラジオ体操ステーション団体数</td><td>12団体</td><td>15団体</td><td>20団体</td></tr></table>	事業名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	ラジオ体操（定例）参加者数	－	2会場20回 延587人（約30人/回）	11回 延519人（約50人/回）	〃（リーダー養成）参加者数	－	10回 延129人	9回 延97人	ラジオ体操ステーション団体数	12団体	15団体	20団体	・定例のラジオ体操は1回に約50人の参加者であり、ラジオ体操教室の定着化がみられる。今後は更に定例のラジオ体操やラジオ体操ステーションの参加者にインセンティブを付与することで、継続して活動が続けれる取組が必要である。	・継続実施 ・ラジオ体操教室の参加者、ラジオ体操ステーションに、インセンティブとして「健食健歩手帳」を配布による活用の促しと健康づくりの定着化							
	事業名	平成29年度	平成30年度	令和元年度																									
ラジオ体操（定例）参加者数	－	2会場20回 延587人（約30人/回）	11回 延519人（約50人/回）																										
〃（リーダー養成）参加者数	－	10回 延129人	9回 延97人																										
ラジオ体操ステーション団体数	12団体	15団体	20団体																										
こころの健康づくり		【目的】 自殺対策基本法や自殺対策要綱に基づき「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現を目指す。 【対象】 一般市民 【内容】 1. 対面相談事業 2. 人材養成事業 3. 普及啓発事業 4. 若年層へのこころの健康づくりの普及 5. 自殺対策計画策定事業	1. 対面等相談事業 月～金（祝日除く）開設 保健師による相談 2. 人材養成事業 ゲートキーパーを増やす ①住民向け：かもまる講座 ②相談支援者向けゲートキーパー出前講座を庁内外自殺対策連絡会で周知 健康福祉部職員向け：1回 3. 普及啓発事業 ①9月自殺予防週間、3月自殺対策月間に併せ、街頭キャンペーン・講演会を実施 講演会は、庁内外自殺対策連絡会の委員に周知 ②9月自殺予防週間 相談窓口チラシ：約600枚配布 （保健推進員9名・保健所職員2名・健康課職員5名） ③働き世代のこころの健康づくり対策として、約140企業にうつ対策チラシを配布 4. 若年層対策事業 ①SOSの出し方に関する教育（中学校）：2校 ②成人式にこころの相談窓口カード配布：約700枚 ③妊娠届出時にこころの相談窓口カード配布：約370枚 5. 自殺対策連絡会の開催：1回 昨年度策定した加賀市自殺対策基本計画の進捗状況を確認、今後の取組を共有。 ・こころの健康づくり相談実績 <table><tr><th>内容</th><th>平成29年度</th><th>平成30年度</th><th>令和元年度</th></tr><tr><td>面接相談</td><td>延べ33</td><td>延べ28</td><td>延べ20</td></tr><tr><td>訪問相談</td><td>延べ 11</td><td>延べ12</td><td>0</td></tr><tr><td>電話相談</td><td>延べ101</td><td>延べ109</td><td>延べ189</td></tr><tr><td>メール相談</td><td>延べ77</td><td>延べ124</td><td>延べ98</td></tr><tr><td>その他</td><td>1</td><td>－</td><td>－</td></tr></table>  こころの健康づくり関連認知度 ■ゲートキーパーの認知度 ■地域の相談機関の認知度（子ども・障がい・高齢・生活困窮・健康等） H30 (2018年) R1 (2019年) ・自殺予防週間の認知度：31.0% ・自殺予防月間の認知度：21.6% ・地域の相談機関の認知度：34.2% ・ゲートキーパーの認知度：21.9%	内容	平成29年度	平成30年度	令和元年度	面接相談	延べ33	延べ28	延べ20	訪問相談	延べ 11	延べ12	0	電話相談	延べ101	延べ109	延べ189	メール相談	延べ77	延べ124	延べ98	その他	1	－	－	・こころの相談件数は年々増加傾向にあるため、相談体制（連携方法等）を整えていく必要がある。 ・自殺予防週間や月間行事など自殺対策連絡会のメンバーとともに自殺対策に関する情報を周知することで、自殺に関する認知度が高まっている。	・継続実施 ・自殺予防週間に併せ、健康福祉部内全職員に相談窓口カードの配布 ・若年層への周知のため、高校等に協力依頼し、チラシの配布 ・働く世代への対策として、労働基準協会との連携し、チラシ配布を依頼
内容	平成29年度	平成30年度	令和元年度																										
面接相談	延べ33	延べ28	延べ20																										
訪問相談	延べ 11	延べ12	0																										
電話相談	延べ101	延べ109	延べ189																										
メール相談	延べ77	延べ124	延べ98																										
その他	1	－	－																										

基本目標		事業名	目的・対象・内容	令和元年度主な取組み及び実績	評価（課題等）	令和２年度主な取組み																					
基本目標３ 健康づくりを進める生活習慣の改善	野菜摂取増・減塩普及活動	【目的】 全てのライフステージにおいて、健やかな成長に必要な正しい食生活の必要性や摂取方法等普及推進する。 【対象】 一般市民 【内容】 1.母子保健事業や健康増進事業における栄養指導を実施する。 2.食生活改善推進員による啓発普及活動及び食育活動を行う。 3.栄養士連絡会での課題共有と各部署での展開を検討する。	1.適正摂取普及 ・母子健診・教室・相談事業にて栄養指導実施（延べ1,137名） ・大人の食育講座1コース開催（カリキュラムにかが健幸長寿講座等公開講座を活用した） 2.食改活動による野菜普及・減塩活動 ・6/2 かが健幸長寿講座（参加者148名）にて加賀市の食の課題報告と野菜スローガンティッシュに配布 ・7/7、7/21、8/4 かもママとのコラボによる親子ウォーキング&ミニ食育講座開催（参加者 59名） 野菜の必要性や減塩について啓発 ・保育園児や小学生を対象とした食育活動（テーマ：野菜） ・女性がん検診会場で野菜摂取普及及びアンケート調査実施 8会場641人 ・減塩くん家庭訪問実施 180軒 ・11/17ノルディックウォーキング会にて糖尿病予防週間事業の一つとして、糖尿病予防における野菜摂取の効果についての啓発と野菜たっぷり味噌汁の提供実施（100名） 3.栄養士連絡会 9月12日実（16人参加） 加賀市食育推進計画及び各職域における課題の共有及び対策（協働できそうな取組）検討	・大人の食育講座修了者 7名 →食生活改善推進協議会への入会 4名 ・栄養士連絡会は、栄養士だけではなく農林水産課も出席あり。 【野菜摂取量】（女性がんアンケート） 成人の野菜摂取目標量は350gであると回答した方は54%と増加しているが、実際に毎食食べているのは3分の１程度（33～36%）で推移。 【みそ汁の塩分測定訪問結果】 <table><tr><td>塩分濃度</td><td>0.4%</td><td>0.6%</td><td>0.8%</td><td>1.0%</td><td>1.2%</td><td>1.4%</td></tr><tr><td>平成30年度</td><td>43軒(6.1%)</td><td>66軒(25.5%)</td><td>99軒(38.3%)</td><td>63軒(24.4%)</td><td>14軒(5.4%)</td><td>1軒(0.4%)</td></tr><tr><td>令和元年度</td><td>30軒(16.7%)</td><td>53軒(29.5%)</td><td>49軒(27.2%)</td><td>39軒(21.7%)</td><td>9軒(5.0%)</td><td>0軒(0.0%)</td></tr></table> みそ汁の塩分濃度は、平成30年度と比較すると令和元年度は全体に薄い方に移行し、1.2%以上の濃い家庭は減少していた。	塩分濃度	0.4%	0.6%	0.8%	1.0%	1.2%	1.4%	平成30年度	43軒(6.1%)	66軒(25.5%)	99軒(38.3%)	63軒(24.4%)	14軒(5.4%)	1軒(0.4%)	令和元年度	30軒(16.7%)	53軒(29.5%)	49軒(27.2%)	39軒(21.7%)	9軒(5.0%)	0軒(0.0%)	・食改やかもママ、農水等と協働し、野菜摂取量、塩分摂取量、肥満・やせについて更に啓発普及する必要がある。 ・大人の食育講座の参加者が少なく、食生活改善推進員が増やせない	・継続実施 ・健食健歩プロジェクト関係団体や栄養士連絡会等と連携を強化して、異なる対象や啓発普及の機会を増やす⇒健康食レシピの公募 ・学校での取組を食改活動や広報活動にて市民に周知する⇒生活習慣病予防パンフレット（食生活編）を作成し、11月号広報折込予定。 ・大人の食育講座については参加者が個々人に合った健康食について習得できるカリキュラムで実施予定であったがコロナ感染症拡大防止のため中止。 ・各課が開催している一般向け健康づくり講座等で、共通の内容については協働実施する。当初予定していたかがやき予防塾との実施は上記のとおり中止。
	塩分濃度	0.4%	0.6%	0.8%	1.0%	1.2%	1.4%																				
	平成30年度	43軒(6.1%)	66軒(25.5%)	99軒(38.3%)	63軒(24.4%)	14軒(5.4%)	1軒(0.4%)																				
令和元年度	30軒(16.7%)	53軒(29.5%)	49軒(27.2%)	39軒(21.7%)	9軒(5.0%)	0軒(0.0%)																					
ウォーキング推進事業	【目的】 幼児期から高齢期まで誰もが無理なく運動習慣を形成する取組みとして、ウォーキングの正しい実施方法の啓発やウォーキングイベントを通してウォーキングを推進する。 【対象】 一般市民 【内容】 1.ウォーキングマップの普及 2.ウォーキングマップを活用したウォーキング会を開催する。 3.地区組織によるウォーキング会を開催する。	・定例ウォーキング会の開催（加賀市ノルディックウォーク協会委託）（第3日曜日）5月から実施 9回開催 ・マップを活用したウォーキングイベントの開催支援(NPO法人かもママ委託) 年間13回開催	・定例ウォーキング会 <table><tr><td>事業名</td><td>平成29年度</td><td>平成30年度</td><td>令和元年度</td></tr><tr><td>ノルディックウォーク参加者数</td><td>1回 101人</td><td>10回 延280人</td><td>9回 延246人</td></tr></table> ・マップを活用したウォーキング会 参加者 延べ219人	事業名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	ノルディックウォーク参加者数	1回 101人	10回 延280人	9回 延246人	・定例ウォーキング会は、毎月の参加を習慣にする人が増えてきたが、新規の参加者が増えるよう、ウォーキング会の周知や企画に工夫が必要。企業等の団体に活用してもらえるよう周知が必要。	・継続実施 ・定例ウォーキング会 8回（5月、6月、8月、9月、10月、11月、12月、3月）冬季は休止 ・ウォーキングイベント 10回 保推の地区活動で積極的に利用勧奨														
事業名	平成29年度	平成30年度	令和元年度																								
ノルディックウォーク参加者数	1回 101人	10回 延280人	9回 延246人																								
かが健幸長寿講座	【目的】 講座を通して、生活習慣病の発症予防や重症化予防のための知識や技術を習得する。 【対象】 一般市民 【内容】 健康・介護・医療の分野が協働でかが健幸長寿講座を開催する	・かが健幸長寿講座を毎月1回開催（内、3回を健康課が担当） 6月：生活習慣病予防の食事について「知ったらもっとすきになる！やさいのちょっといい話」を開催（参加者148人） 8月：歯周病予防「お口のケアと肺炎予防」（参加者84人） 9月：こころの健康づくり講演会「すべての年齢層のうつ病について知っておきたいこと」（参加者97人） ・かもまる講座:11回 233人 ・地区健康講座:24回 558人 ・健診結果説明会：22回 202人		・住民の興味のある内容であった。	・健幸長寿講座6月：KAGA健食健歩プロジェクト紹介を開催予定（新型コロナウイルス感染症により中止） 8/29：「健診結果の見方を学ぼう！免疫力アップ食を知ろう！」 9月：こころの健康づくり講演会を開催予定。																						

基本目標		事業名	目的・対象・内容	令和元年度主な取組み及び実績	評価（課題等）	令和２年度主な取組み															
基本目標３ 健康づくりを進める生活習慣の改善	たばこ対策	【目的】 禁煙対策 受動喫煙対策 【対象】 一般市民 【内容】 禁煙対策、受動喫煙対策	【禁煙対策】 ・国保の特定健診の問診で喫煙者には禁煙治療費助成のチラシを健診結果に同封 【受動喫煙防止対策】 ・禁煙フォーラムの実施 ・健康増進法の一部改正に伴い、庁内関係機関に法改正説明会の実施 ・関係機関機関へのポスター等を379枚配布して周知啓発 ・加賀市保健推進員協議会の小学生へ受動喫煙防止啓発ポスターの公募に17名が応募	・第1種施設 敷地内禁煙100% ・第2種施設 令和元年→2年 敷地内禁煙施設 38.5%→61%に増加 屋内禁煙施設 61.5%→39%	・健康増進法一部改正により、市内の受動喫煙体制が整備された。	・継続実施 ・健康増進法一部改正の周知と受動喫煙防止対策の啓発強化 受動喫煙ポスター、シール配布															
	K A G A健康フェスタ	【目的】 食や運動について、様々な体験などを通して自己の生活を振り返る機会とする。 【対象】 一般市民 【内容】 1. ステージイベント 2. 健康づくり体験 食、ウォーキング・ラジオ体操、健康相談（血圧・骨密度・体組成の測定、運動機能分析）コグニサイズ 3. その他協力団体ブース	日時：令和元年7月13日(土)9：00～ 会場：かが交流プラザさくら 内容：平成30年度継続に加え、加賀看護学校祭、よーきたまつり（大聖寺商工振興会主催）、お腹の赤ちゃんを大切にする啓発イベント同時開催 参加者数：H29 約600人 H30 約1,000人 R1 約1,050人	・健康フェスタ協力団体数 <table><tr><th>年度</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th></tr><tr><td>健康フェスタ協力団体数</td><td>7</td><td>14</td><td>26</td><td>27</td></tr></table>	年度	H28	H29	H30	R1	健康フェスタ協力団体数	7	14	26	27	・協力団体数が増えることにより、参加者数や参加者層が変わり、健康づくりの周知が広がる。	・継続実施 ・お腹の赤ちゃんを大切にする啓発イベント、加賀看護学校祭、よーきたまつりと同時開催 ・協力団体との魅力のある内容の検討（新型コロナウイルス感染症により令和２年度KAGA健康フェスタは開催中止。） ・健康フェスタ中止の代替えとして、加賀市健康だよりを発行し、加賀市で行われている妊産婦への支援の紹介や、KAGA健食健歩プロジェクトの周知を図った。					
	年度	H28	H29	H30	R1																
健康フェスタ協力団体数	7	14	26	27																	
タニタ健康プログラム	【目的】 市民の健康増進やメタボリックシンドローム改善等健康管理として、「運動習慣」をつけ、「食習慣の改善」等の知識や技術の習得により、市民の生活習慣改善及び定着を図る。 【対象】 運動習慣のない19歳以上の市民 【内容】 1. 活動量計の購入費用助成 2. 活動量計を活用したWEBシステムによる健康管理サイトを開設する。 3. 参加者が健康的な生活を継続するためのイベント・健康セミナーを開催する。 4. 一般市民にも啓発する公開セミナーを開催する。 5. 地元産食材を使った健康食であるタニタ監修メニューの開発と提供を行う。	・タニタカフェの開催（2回：55人） ・タニタ健康プログラムにスマートフォンアプリ新設 ・タニタ監修メニューの追加（2メニュー） <table><tr><th></th><th>平成29年度</th><th>平成30年度</th><th>令和元年度</th></tr><tr><td>タニタ監修メニュー提供数</td><td>2メニュー 688食提供（9食/日）</td><td>4メニュー 2,025食提供（7食/日）</td><td>6メニュー 1,564食提供（6食/日）</td></tr></table>		平成29年度	平成30年度	令和元年度	タニタ監修メニュー提供数	2メニュー 688食提供（9食/日）	4メニュー 2,025食提供（7食/日）	6メニュー 1,564食提供（6食/日）	・新規会員 63名 <table><tr><th>事業名</th><th>平成29年度</th><th>平成30年度</th><th>令和元年度</th></tr><tr><td>KAGAタニタ健幸くらぶ</td><td>会員284人</td><td>会員408人</td><td>会員471人</td></tr></table>	事業名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	KAGAタニタ健幸くらぶ	会員284人	会員408人	会員471人	働き世代の参加が少ない データ送信率が低下してきており、興味・関心のあるイベント開催が必要（歩数イベントなど）	・測定キャラバンを開催し、健康課、エイム以外の普段測定できない場所で体組成測定を行い、参加者の意欲向上を図る。
	平成29年度	平成30年度	令和元年度																		
タニタ監修メニュー提供数	2メニュー 688食提供（9食/日）	4メニュー 2,025食提供（7食/日）	6メニュー 1,564食提供（6食/日）																		
事業名	平成29年度	平成30年度	令和元年度																		
KAGAタニタ健幸くらぶ	会員284人	会員408人	会員471人																		
健康相談	【目的】 市民の心身の健康に関する個別の相談に応じ必要な指導及び助言を行い、市民が家庭における健康管理に資すること 【対象】 加賀市民 【内容】 臨時看護師等が測定し、臨時の管理栄養士が健康に関する指導及び助言を行う。また、必要に応じ、血圧等の測定やK A G A健食健歩プロジェクト事業の紹介、他機関へつなぐ等多様化した相談内容に対応した指導及び助言を行う。	【健康課相談】 来所相談 40回30人、電話相談 40回27人実施 【定例健康相談・糖尿病予防相談】 定例各12回109人実施 糖尿病12回18人実施 【その他の保健事業】 ・健診結果説明会 7～2月 50回実施194人参加 ・骨密度相談（女性がん検診、女性の健康づくり週間）延べ99人実施 10月31日、11月18日の女性がん検診で、骨密度相談も同時実施。 女性の健康づくり週間である3月2日に、骨密度相談を実施 ・歯周病相談（歯周病検診）6月2日に市民会館で、歯と口の健康週間行事として歯周病相談（歯周病検診）を98人実施 ・K A G A健康フェスタ（7/13）での健康相談167人実施 ・生活改善プログラム事業（運動施設利用・タニタ食体験）7人実施 対象者 国民健康保険加入者の19～39歳、生活保護者 【地域での健康相談】 各地区で健康相談を実施 8回373人実施		・R1年度に糖尿病予防相談を新設し、住民からの相談が増えた。今後も引き続き、住民にきめ細やかな相談を行うことが必要である。	・継続実施 ・定例健康相談の際、健食健歩手帳の活用 ・糖尿病予防相談者に対して、糖尿病協議会との連携した相談支援 例：医療センター糖尿病治療中者の「さかえを読む会」等の紹介																

基本目標		事業名	目的・対象・内容	令和元年度主な取組み及び実績		評価（課題等）	令和２年度主な取組み																																																																																				
基本目標３	健康づくりを進める生活習慣の改善	K A G A 健幸ポイント	【目的】 市民の日々の健康づくり活動にポイントを付与し、継続した健康づくりへのインセンティブ（動機付け）により、健康づくりの実践と継続につなげる。 【対象】 一般市民 【内容】 診や健康に関する事業などへの参加、1日のウォーキング目標の達成やラジオ体操の参加、3食野菜を食べるなど、健康づくりに関する自主活動でポイントが付与され、満点になったら協賛事業所が提供する参加賞と健康づくりに関連した景品を抽選で授与する。	前年度の取組みに加え、次の点を追加・改善 ・継続した取組みを支援するため、ポイントの年度繰越しの実施 ・周知の強化（ポスター、チラシ、広報 等のほか、健診案内に同封） ・歯周病検診（施設）でも押印できるよう、健幸印を配布 KAGA健幸ポイントカードの配布枚数 約40,000枚（前年度約17,000枚） ・休日開館のアビオ等 応募場所の３か所追加 ・検査値改善者には40ポイント進呈 ・参加賞を提供してくれる新規協賛事業所 7事業所	<table><tr><th>事業名</th><th>平成29年度</th><th>平成30年度</th><th>令和元年度</th></tr><tr><td>KAGA健幸ポイント応募数</td><td>334枚</td><td>1,740枚</td><td>1,495枚</td></tr></table>	事業名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	KAGA健幸ポイント応募数	334枚	1,740枚	1,495枚	・制度の周知 ・協賛店の拡充 ・参加賞の内容の充実 ・抽選当選者数の充実	・取組を継続してもらうため、カードを8枚以上応募した方の当選確立のアップ ・健診結果の改善が見られた方に、40ポイントの進呈 ・国保加入者限定で、健診結果の改善が見られた方に、抽選で5名に豪華景品のプレゼント																																																																												
事業名	平成29年度	平成30年度	令和元年度																																																																																								
KAGA健幸ポイント応募数	334枚	1,740枚	1,495枚																																																																																								
基本目標４	健康を支え守るための社会環境の整備	糖尿病対策	【目的】 広く市民に対して、糖尿病への関心を高めるため、「KAGA健食健歩プロジェクト」の一環として、糖尿病予防の啓発普及を強化する。 【対象】 一般市民 【内容】 1. 啓発普及 2. 発症予防対策 3. 重症化予防対策 4. 基盤整備	●糖尿病対策強化 【周知・啓発】 新規：糖尿病ウォークラリーや11月の糖尿病週間に併せて、糖尿病の市民団体と合同で糖尿病イベントを実施 糖尿病週間特別展 in交流プラザさくら 100名 【発症予防対策】 ・糖尿病予防相談実施(毎月第2水曜日) 18名来所 ・血糖自己測定器を活用した保健指導 15名利用 ・タニタメニューを活用した適量学習 55名利用 ・運動施設利用券交付事業 53名利用 【重症化予防対策】 ・26医療機関にて歯周病施設検診(無料)の実施 562名受診 ・加賀市糖尿病協議会との連携により、糖尿療養指導士との治療中断者対策を3医療機関で実施。	新規透析導入時の加入保険 <table><caption>新規透析導入時の加入保険 (人数)</caption><tr><th>年度</th><th>国保</th><th>社保</th><th>後期</th><th>その他</th><th>合計</th></tr><tr><td>H25</td><td>11</td><td>9</td><td>13</td><td>0</td><td>33</td></tr><tr><td>H26</td><td>16</td><td>7</td><td>16</td><td>0</td><td>32</td></tr><tr><td>H27</td><td>5</td><td>6</td><td>10</td><td>1</td><td>23</td></tr><tr><td>H28</td><td>9</td><td>7</td><td>14</td><td>0</td><td>26</td></tr><tr><td>H29</td><td>7</td><td>8</td><td>14</td><td>2</td><td>27</td></tr><tr><td>H30</td><td>6</td><td>2</td><td>14</td><td>1</td><td>24</td></tr></table> (糖尿病性腎症による透析のみ抜粋) <table><caption>(糖尿病性腎症による透析のみ抜粋) (人数)</caption><tr><th>年度</th><th>国保</th><th>社保</th><th>後期</th><th>その他</th><th>合計</th></tr><tr><td>H25</td><td>5</td><td>4</td><td>13</td><td>0</td><td>22</td></tr><tr><td>H26</td><td>3</td><td>2</td><td>9</td><td>0</td><td>14</td></tr><tr><td>H27</td><td>2</td><td>2</td><td>10</td><td>1</td><td>15</td></tr><tr><td>H28</td><td>3</td><td>5</td><td>14</td><td>0</td><td>22</td></tr><tr><td>H29</td><td>5</td><td>2</td><td>14</td><td>2</td><td>23</td></tr><tr><td>H30</td><td>3</td><td>1</td><td>10</td><td>1</td><td>15</td></tr></table>	年度	国保	社保	後期	その他	合計	H25	11	9	13	0	33	H26	16	7	16	0	32	H27	5	6	10	1	23	H28	9	7	14	0	26	H29	7	8	14	2	27	H30	6	2	14	1	24	年度	国保	社保	後期	その他	合計	H25	5	4	13	0	22	H26	3	2	9	0	14	H27	2	2	10	1	15	H28	3	5	14	0	22	H29	5	2	14	2	23	H30	3	1	10	1	15	1. 糖尿病を発症する前段階からの更なるアプローチ 2. 国保被保険者以外の人への幅広い周知の必要性（疾病・予防等） 3. 自己管理能力の向上 4. 糖尿病対策の基盤整備	1. 啓発普及 継続 2. 発症予防対策 継続 3. 重症化予防対策 継続 ・高齢者の特性を踏まえた保健指導（75歳以上） 4. 基盤整備 ・高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的な実施との連動（従事者の資質向上含む）
		年度	国保	社保	後期	その他	合計																																																																																				
H25	11	9	13	0	33																																																																																						
H26	16	7	16	0	32																																																																																						
H27	5	6	10	1	23																																																																																						
H28	9	7	14	0	26																																																																																						
H29	7	8	14	2	27																																																																																						
H30	6	2	14	1	24																																																																																						
年度	国保	社保	後期	その他	合計																																																																																						
H25	5	4	13	0	22																																																																																						
H26	3	2	9	0	14																																																																																						
H27	2	2	10	1	15																																																																																						
H28	3	5	14	0	22																																																																																						
H29	5	2	14	2	23																																																																																						
H30	3	1	10	1	15																																																																																						
健康のまちづくり推進	【目的】 妊娠期から高齢期までのそれぞれのライフステージに応じた健康づくりを総合的に推進し、健康寿命の延伸を目指すため、健康づくりを介護、医療の分野まで広く捉え、市民の健康づくりの推進の気運を高める。 【対象】 一般市民 K A G A 健食健歩プロジェクト関連団体等 【内容】 1. かがし健康応援プラン21推進のため啓発する。 2. K A G A 健食健歩プロジェクト連携推進会議の開催 3. 健康のまちづくり友好都市連盟サミットについて 4. 健康のまちづくり市内ワーキングを開催する。	○かがし健康応援プラン21推進のための啓発普及 1. 受動喫煙防止ポスターによる啓発 ポスター作成：小学生を対象に、受動喫煙防止ポスターを募集した。小学生17名の応募。保健推進員に、各賞のネーミングを考えてもらい、たばこに関するフォーラム inかがで表彰式を実施。最優秀賞のポスターは、受動喫煙防止を呼びかけるポスターとして印刷し、公共施設等に配布予定 2. スローガンを基に生活習慣改善パンフレット（歯の健康編）全戸配布（広報への折込 27,100枚） 3. 健康のまちづくり友好都市連盟サミットへの参加 ①開催日 10月19日、20日 ②開催会場 青森県大間町		・各種団体や企業と協働で実施できた。	・健康のまちづくり連携推進ミーティングの開催2回																																																																																						

基本目標		事業名	目的・対象・内容	令和元年度主な取組み及び実績	評価（課題等）	令和２年度主な取組み																																			
基本目標 4 健康を支えるための社会環境の整備	加賀市保健推進員協議会活動		【目的】 保健衛生を推進し、市民の健康増進の意識高揚を図る。 【対象】 全てのライフステージの市民 【内容】 2年任期。区長の推薦により選出 【スローガン】 私たちは市民の健康づくりを応援します！ 【重点目標】 1.生活習慣病予防のための食事、運動を推進しよう 2.特定健診・がん検診受診率＋5%を目指そう 3.受動喫煙防止を推進しよう	8期保健推進員 417名 総会 1回 役員会 6回 理事会 6回 【研修会】総会 かが健幸長寿講座 美浜町視察研修 【全体活動】22回 2,417人参加 ・KAGA健康フェスタ 1,050名来場 健康づくりスローガンクイズで啓発普及 ・自殺予防週間街頭キャンペーン500名 ・いきいき大集合 血圧測定166名 ・重点目標の一つに「受動喫煙防止を推進しよう」を掲げ、KAGA健康フェスタ等のイベントにて啓発普及コーナー設置やタバコに関する児童の絵を募集し、スローガンポスターに採用した。タバコについて考えるフォーラム(1/19開催)にて表彰。タバコのポスター17点応募あり 【地区活動】145回 8,259人参加 ・「国保健康づくり推進事業」を委託し、地域の実情に合わせ、国保特定健診・がん検診の受診勧奨や健康講座等を実施した。 ・健幸ポイント制度を活用し、地区での健診結果活用講座9回118人のほか生活習慣病予防講座等の健康づくり活動を実施した。 【重点活動】4地区 重点活動費を活用して他団体・組織とつながりを持った事業を展開した。	【全体活動】 ・健幸フェスタにて約1,100人の市民に健康づくりスローガン、健幸ポイント・受動喫煙防止について啓発普及できた。 ・小学生の受動喫煙防止ポスター公募によるスローガンポスターの採用 【地区活動】 ・地区住民等に啓発普及できた。 <table><tr><th colspan="2">区 分</th><th>平成30年度</th><th>令和元年度</th></tr><tr><td rowspan="2">地区活動</td><td>回 数</td><td>193</td><td>145</td></tr><tr><td>参加者数</td><td>9,393</td><td>8,259</td></tr><tr><td rowspan="2">全体活動</td><td>回 数</td><td>26</td><td>22</td></tr><tr><td>参加者数</td><td>2,341</td><td>2,417</td></tr><tr><td rowspan="2">計</td><td>回 数</td><td>219</td><td>167</td></tr><tr><td>参加者数</td><td>11,734</td><td>10,676</td></tr></table>	区 分		平成30年度	令和元年度	地区活動	回 数	193	145	参加者数	9,393	8,259	全体活動	回 数	26	22	参加者数	2,341	2,417	計	回 数	219	167	参加者数	11,734	10,676	・保健推進員提案による小学生の受動喫煙防止ポスターがスローガンポスターに採用されたことにより、住民への周知に広がるきっかけとなる活動を行うことができた。	・継続実施 ・受動喫煙防止を重点活動とし、町民会館等の実態調査と啓発普及を実施する。（R元年度作成ポスター活用） ・特定健診・がん検診受診率向上を重点活動とし、国保特定健診の40歳65歳の無料対象者（未受診者）への個別受診勧奨の実施（9～12月に実施予定）									
	区 分		平成30年度	令和元年度																																					
地区活動	回 数	193	145																																						
	参加者数	9,393	8,259																																						
全体活動	回 数	26	22																																						
	参加者数	2,341	2,417																																						
計	回 数	219	167																																						
	参加者数	11,734	10,676																																						
	食生活改善推進協議会活動		【目的】 行政が推進する栄養改善業務に協力し、実践活動を通じて地域社会の食生活改善に寄与する。 【対象】 全てのライフステージの市民 【内容】 大人の食育講座（食生活改善推進員養成講座）を修了後、自ら食生活改善推進協議会入会し活動。 【スローガン】 私達の健康は私達の手で 【目標】 ①「いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり」実現に向け、「かがし健康応援プラン21（第2次）」の推進に協力しよう。 ②生活習慣病予防の実践活動に努めましょう。 ③市民が生涯にわたって健全な心身を培い豊かな人間性を育みながら、環境にも配慮する食育活動に努めましょう。 ④食文化と健康のための「加賀の食」の伝承と地産地消を推進しよう。	食生活改善推進員会員数 119名 会議：市総会 64人参加 南加賀総会18人、県総会15人、役員会、理事会等 23回 【研修会】市中央研修会等 6回184人参加 県研修会等 4回62人 美浜町視察研修 5人 【全体活動】 ・KAGA健康フェスタ ・親子ウォーキング&ミニ食育講座（かもママと協働開催 7/7、7/21、8/4） ・保健推進員、JA等と連携した食育活動野菜摂取及び減塩推進活動を実施 ・減塩くんによる家庭訪問活動実施 180軒訪問 ・健康づくりスローガンの活用 「野菜は両手いっぱい三度の食事」 【ブロック活動】 生活習慣病予防講座、食育活動、伝承料理・地産地消活動等	<table><tr><th colspan="2">区 分</th><th>平成30年度</th><th>令和元年度</th></tr><tr><td rowspan="2">ブロック活動</td><td>回 数</td><td>69</td><td>58</td></tr><tr><td>参加者数</td><td>1,977</td><td>1,586</td></tr><tr><td rowspan="2">全体活動</td><td>回 数</td><td>68</td><td>41</td></tr><tr><td>参加者数</td><td>3,929</td><td>3,317</td></tr><tr><td rowspan="2">計</td><td>回 数</td><td>137</td><td>99</td></tr><tr><td>参加者数</td><td>6,196</td><td>4,903</td></tr></table> 令和元年度ブロック活動の内訳 <table><tr><td>生活習慣病予防講座</td><td>24回</td><td>544人</td></tr><tr><td>食育活動</td><td>25回</td><td>685人</td></tr><tr><td>伝承料理・地産地消</td><td>9回</td><td>357人</td></tr></table>	区 分		平成30年度	令和元年度	ブロック活動	回 数	69	58	参加者数	1,977	1,586	全体活動	回 数	68	41	参加者数	3,929	3,317	計	回 数	137	99	参加者数	6,196	4,903	生活習慣病予防講座	24回	544人	食育活動	25回	685人	伝承料理・地産地消	9回	357人	・野菜摂取推進や減塩活動を重点に取組むことによって、市民の食生活改善につながってきた。 ・保健推進員やかもママ、JA等KAGA健食健歩プロジェクトの関係団体と協働で、働き世代への食育などへの働きかけができた。	・継続実施 ・野菜摂取・減塩推進活動を重点活動として取組む ・栄養士連絡会との連携 ・健康食の公募による食の啓発普及
区 分		平成30年度	令和元年度																																						
ブロック活動	回 数	69	58																																						
	参加者数	1,977	1,586																																						
全体活動	回 数	68	41																																						
	参加者数	3,929	3,317																																						
計	回 数	137	99																																						
	参加者数	6,196	4,903																																						
生活習慣病予防講座	24回	544人																																							
食育活動	25回	685人																																							
伝承料理・地産地消	9回	357人																																							